



年頭のご挨拶

坂出市病院事業管理者
兼 坂出市立病院院長

岡田節雄



令和7年、新年明けましておめでとうございます。昨年は年々更新される記録的猛暑で体調管理に苦慮した1年であったと思います。四季が特徴の日本も、過ごし易い春・秋が短くなり、世界的な気候変動を身近に感じる1年でした。世界情勢も各地での紛争等、混乱から抜け出せない状況の上、物価高から市民生活にも影を落とし、不安の多い日本国であったと思います。

一般社会の扱いでは日常の感染症へ移行した新型コロナウイルス感染症ですが、消滅したわけではなく、病院内では職員は元より患者さん含め全てのかたがマスク着用を継続しており、この様子はコロナ禍と一切変わりが無い様に感じられます。マスクで表情や顔の特徴も認識し難く、人間特有の五感を働かせたコミュニケーション手段にも支障を来すマスク姿が病院内で稀になるのはいつのことなのかと待ち望んでいる反面、もしかしたら、病院内ではマスク姿が日常になってしまうのではとも感じています。

坂出市立病院は当地に新築移転し、あっという間に10年が過ぎ、11年目に入りました。中讃地区の急性期医療提供に無くてはならない病院に成長することを職員の共通目標とし、日々の診療に従事しております。コロナ禍以降、香川県内では救急車で医療機関へ搬送される際の搬送困難事例（受け入れ要請病院数が4病院以上、かつ救急車の現場滞在時間が30分以上）が急増し、他県へ搬送される等大きな問題となっております。当院だけで解決出来る問題では決してありませんが、問題解決への貢献を当院も行うべきと考えております。当院へ救急搬送される患者数は年々増加し、昨年は2,000件を大きく超え、過去最高の救急車応需患者数となりました。

当院は2019年3月に中讃地区唯一の第二種感染症指定医療機関の指定を受け、2020年3月には香川県内発生第1例目のコロナ患者を受け入れ、瞬く間に新型コロナウイルス感染症の最前線病院として多くの患者対応を行い、早5年近く経過しました。入院頂いたコロナ患者さんは既に2,200人を大きく超え、坂出市内は勿論、中讃地区全域から西讃地区、東讃地区に至るまで広範な地域の患者さんを受け入れました。他の疾患に関しても坂出市外の患者さんのご利用も年々増加し、現在は坂出市外在住の入院患者数が、市内在住の患者さんより多くなっております。

医療界では、公定価格である診療報酬の実質的マイナス改定が継続しているにもかかわらず、最近の物価高や円安にて診療材料費が高騰し、更には人件費高も加わり、今後の病院運営は厳しさを増すばかりです。人も物も投資しなければ出来ない高次医療の充実や実践に向けて、質の高い医療の提供と経営努力を惜しまずに病院運営が出来ればと思っております。

坂出市立病院は、悪性疾患や急性期疾患に対する診療レベルを高く保つ様、日々努力しております。医師の派遣元であります香川大学医学部と連携しながら体制作りを継続しております。地域住民の皆様が真に望む医療体制とは、「最も身近な病院の機能充実」だと確信しており、坂出市立病院が「身近な病院」として、提供する医療レベルを向上させ、質の高い診療を提供し、更には有事にも活躍出来ることが、住民の皆様の期待に応えるものだと考えております。

理想的な地域医療提供体制の堅持に職員一同邁進致します。今後とも市民の皆様の幅広いご理解、ご協力、ご支援の程をお願い申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和7年1月1日



謹んで初春のお慶びを申し上げます。

平素より坂出市立病院にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当院は平成26年12月に寿町へ新築移転し11年目を迎えました。

市民の皆様、関係各機関の皆様のお力添えがあってこそ深く感謝しております。

昨年末に無菌治療室（特別な空調設備を使用してきれいな空気を循環させている病室）の増床工事を行い、血液疾患に罹患する患者様が、安全で安心して治療が受けられますよう施設面におきましてもさらに充実いたしました。

他部門におきましても、地域の中核病院として、市民の皆様が安心して暮らせますよう、さらなる進化を遂げております。

本年も皆様に質の高い看護サービスが提供できますよう粉骨砕身努めてまいります。

今年一年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



看護部長
北村地春

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、大リーグ 大谷翔平選手の活躍、前人未踏の50本塁打50盗塁に胸躍らされた方も多かったのではないのでしょうか。

一方で、昨年の元旦に震度7の能登半島地震、4月に愛媛・高知県で震度6弱の地震があり、8月には日向灘を震源とする震度7の地震を受けて、気象庁は初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。当院においても非常用設備の点検・整備や津波を防ぐ防潮板の設置訓練および災害対策実働訓練等を実施し、日ごろの備えの強化をはかっているところです。

また、令和6年3月に坂出市立病院経営強化プランを策定し、持続可能な地域医療提供体制の確保および病院事業の経営強化に総合的に取り組むこととしました。

平成26年12月の新築移転後、10年という節目を過ぎましたが、これもひとえに地域住民の皆様や当院を受診してくださった患者様のご理解とご支援の賜物と感謝いたしております。本年も皆様にとりまして、より良い年となりますよう心からお祈りいたします。



事務局長
山崎俊哉

内視鏡検査の利点

消化器内科医員 松本莉香

消化管内視鏡検査、いわゆる「胃カメラ」「大腸カメラ」。検診で勧められるけれども、苦しい検査であるとの印象が強く、つい敬遠してしまう人も多いのではないのでしょうか。しかし、メリットがとても多い検査なのです。胃カメラは「バリウム検査」とよく比較されますが、バリウム検査よりも秀でる点が3つあります。まず、より細かな病変を見つけられる点です。バリウム検査はレントゲンで胃の内部の凹凸をシルエットとして映し出すので、小さな病変はただのシワなのか判別が難しいのですが、胃カメラはダイレクトに病変を描出できるので、数mmの病変をも見つけられます。2つ目に、異常がある部分から直接サンプルを採取する生検検査ができます。3つ目に、バリウム検査では描出しづらい喉や食道、十二指腸においても観察することができます。このように、胃カメラは広範囲を詳細に観察できるため、がん検診としては優れた手法であると言えます。次



に、大腸カメラのメリットは、なんといっても“検査・即・治療”が可能である点です。ほとんどの大腸癌はポリープが成長した結果発生することがわかっています。大腸においてポリープは癌の種なのです。“悪・即・斬”ならぬ“ポリープ・即・切除”が可能であることは、内視鏡検査だけの強みです。内視鏡自体も年々改良されており、被験者の苦痛は以前よりかなり軽減されています。加えて、当院では鎮痛・鎮静剤を用いた内視鏡検査を導入しています。気になるかたは、ぜひお気軽にご相談ください。

なぜ、冬に感染症が流行するのでしょうか？

冬は低温・低湿度を好むウイルスにとって最適な環境です。空気が乾燥していると、ウイルスの水分が蒸発して軽くなり空気中に浮遊しやすくなります。さらに、寒さで体温が下がると、代謝機能や免疫力も低下します。体内の水分量が減り、鼻やのどの粘膜が乾燥するため、ウイルス感染が起こりやすくなるのです。

冬に流行しやすい感染症	感染症名	感染経路	症 状
	新型コロナウイルス感染症	飛沫感染 接触感染	- 発熱、咳、咽頭痛、倦怠感、頭痛、下痢、結膜炎、味覚・嗅覚障害 - 高齢者および基礎疾患を持つかたは重症化リスクあり
	インフルエンザ	飛沫感染 接触感染	- 発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感などの症状が比較的急速に現れる - 併せてのどの痛み、鼻汁、咳
	感染性胃腸炎	飛沫感染 接触感染 経口感染	- 嘔気、嘔吐、下痢、腹痛、軽度の発熱 - 症状が1～2日続く - 乳幼児や高齢者は脱水症状を起こすこともある
	RSウイルス感染症	飛沫感染 接触感染	- 発熱、鼻汁などの症状が数日継続 - 重症では咳がひどくなり、喘鳴や呼吸困難が出現 0～2歳を中心に発症

感染症にかからないためにはどのようにすればいいのでしょうか？

『手洗い』が一番の基本！



色々な場所を触ることで、知らないうちに手にウイルスが付着し、自分や周囲の人への感染の原因になることがあります。

帰宅時、調理の前後、食事の前、排泄の後には、せっけんを使って手を洗いましょう。

『マスクの装着』が大切！



咳やくしゃみの飛沫による感染を防ぐことができます。

免疫力を高める！



免疫力が低下していると感染しやすくなります。また、感染した際には症状が重症化することがあります。普段から十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。

冬の心血管事故に注意しましょう

診療部長 藤田憲弘



冬になると高齢者の心不全患者が増えることはご存じでしょうか？気温が下がることにより身体の交感神経が活発になり、血圧が上昇するなど心血管系に悪影響を及ぼしやすくなります。

心不全以外にも、①急性心筋梗塞、②大動脈解離、③肺動脈血栓塞栓症などの生死に関わる循環器疾患も冬に起こりやすい印象があります。

1 急性心筋梗塞

胸痛や
胸部不快感
20分以上持続



急性心筋梗塞は、心臓を栄養する冠動脈の中の動脈硬化プラークが血管内に破れて血栓を形成し、冠動脈の血流が途絶して心臓の筋肉が壊死する状態です。今まで自覚したことのないような強い胸痛や胸部不快感が20分以上持続します。

2 大動脈解離

激しい
背部痛の持続



大動脈解離は、大動脈の血管壁が血圧の上昇によって裂け目が生じ、それが広がっていくことにより激しい背部痛が持続します。

3 肺動脈血栓塞栓症

胸痛や
血圧の低下
低酸素状態



肺動脈血栓塞栓症は、下肢の静脈などで生じた血栓が右心室を経て肺動脈に流れ血栓性閉塞を起こし、肺動脈の血流を途絶することにより生じます。急に立ち上がった時に胸痛や血圧の低下、低酸素状態を生じます。

これらの疾患は、いずれも生命の危険を伴うために迅速な診断→治療開始が肝要です。ためらわずに救急車を利用してください。救急車で、血圧、酸素飽和度、心電図モニターのみならず12誘導心電図を取り、その心電図波形が病院のモニターに伝送され、急性心筋梗塞の心電図変化があれば1分1秒でも早く治療を開始できるように救急隊と病院の間でシステムが構築されています。

①急性心筋梗塞は、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、喫煙習慣、家族歴などの危険因子、②大動脈解離は、無治療やコントロール不良の高血圧症、③肺動脈血栓塞栓症は運動不足などが発生病因であることが多いので、ご自身やご家族のかたに心当たりがあれば、防寒以外にもこれらの心血管事故について頭の片隅に置いてください。

冬の運動とかくれ脱水

理学療法士 長尾郁子

冬は外に出るのが寒くて、つつい家の中にこもりがちとなり、運動不足に陥りやすいです。

寒い冬には気温の変動が少ない屋内での運動を行うことや、外へ出る時は朝や夜の冷え込む時間帯は避け、できるだけ日中の暖かい時間を選択して十分に防寒し、身体への寒冷刺激の影響を少なくしましょう。運動前にはストレッチや体操などの準備運動をしっかりと行い、身体を温めて筋肉の柔軟性を確保することが大切です。

また、冬は空気が乾燥しやすく、気づかないうちに身体から水分が失われやすくなります。夏は汗をかくことで水分が身体から失われていくことに気づきやすいですが、冬は汗をかきにくいいため、水分不足になっていることに気づきにくく、運動する際も水分摂取を怠りがちです。このように、自覚のないまま脱水状態に陥ることを「かくれ脱水」といいます。冬場でもこまめな水分補給を意識しましょう。



寒い冬では汗で湿った衣服を着たままにしていると、体熱が奪われて身体を冷やす要因となります。汗をこまめに拭き取ることや、吸汗速乾素材の衣服を着用するなどして身体を冷やさないよう注意しましょう。最近はスポーツウェアも多機能素材のものが増えてきているので、上手に選んで冬の運動時に活用するといいですね。

公益社団法人長寿科学振興財団健康長寿ネット

鍋料理の落とし穴!?!にご注意を!

管理栄養士 秋山佳奈



冬といえば鍋料理。鍋に具材を切って入れて煮るだけで出来上がり、そのうえ食後の洗い物も少量。忙しい家庭にとっても、お疲れの主婦（主夫）にとっても鍋料理は救世主と言えるのではないのでしょうか？たくさんの野菜やたんぱく質の食品が摂れ、食べると体が温まる寒い冬の時期にはもってこいの料理ですね。

しかし、鍋料理＝ヘルシーと思っていると、思わぬ落とし穴にはまることがあります。鍋料理は1つの鍋を大勢で囲んで食べることが多いため、つい箸が進み自分がどれだけ食べたかが分かりにくくなります。そのため、肉や練り製品ばかり選んで食べると、たんぱく質や脂質、塩分の摂り過ぎになってしまいます。また、鍋の素には塩分が多く含まれており、多いものでは3～4人前（750g/袋）で約20gを超えるものもあります。1袋全てを1度に摂ることは少ないですが、鍋の汁に雑炊をする場合はご飯が鍋の素（汁）を吸い、全て飲み干しているようなもので、塩分の摂り過ぎになります。

鍋料理を楽しむには次のような工夫をしてみましょう。例えば、鶏もも肉から鶏むね肉に変えるだけで、100gあたりエネルギーは190kcalから133kcalへ、脂質は14.2gから5.9gへと抑えることができます。きのこ類を加えると満腹感を感じ食べ過ぎを防ぎます。塩分が気になる方は、雑炊ではなく別でご飯を食べたり、鍋の素から水炊きやしゃぶしゃぶにしてみましょう。ただし、つけダレのつけ過ぎにはご注意ください。

まだ寒さは続きますが、鍋料理の落とし穴に注意し、この冬を健康に乗り切りましょう。

認定看護師だより

訪問看護についてご存じでしょうか？

訪問看護認定看護師 小林佐也加



近年、病気や障がいがあっても、「住み慣れた家で暮らしたい」「人生の最期を自宅で迎えたい」と望まれるかたが増えています。でも、「家族だけで介護や医療的ケアができるだろうか」「一人暮らしだけど大丈夫？」と不安に思うことも多いと思います。

そんな時に頼りになるのが訪問看護です。訪問看護の強みは、地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まで全ての年代のかたに、関係職種（主治医・ケアマネージャー・薬剤師など多職種）と協力しあって、一人ひとりに必要な支援が行えることです。主治医の指示を受け、訪問看護師が自宅に訪問して、そのかたの病気や障がいに応じた看護、点滴などの医療処置、痛みの軽減や服薬管理、緊急時の対応など、できる限り病院と同じような医療処置を行ったり、自宅で最期を迎えたいという希望に沿った看護も行います。また、健康状態の悪化の防止、リハビリテーション、療養生活の相談とアドバイスなども行い、住み慣れた自宅で長く生活ができるようお手伝いをします。

詳しくは、受診している医療機関やお近くの訪問看護ステーション、地域包括支援センター、市町の介護保険または障がい福祉の担当窓口でご相談ください。

情報BOX

資格取得者



医療情報技師

おおぬき ちあき
大貫 千秋
(放射線技師)



細胞検査士

すざき のぞみ
須崎 希
(臨床検査技師)

消防訓練

11月8日

夜間出火を想定した避難訓練と、消火器の取扱い訓練を実施しました。



私

と

ち

一緒に働きませんか？

☒ 看護師

病院見学も随時受付中。詳細はお問い合わせください。0877-46-5131(代) 担当:庶務課

特殊外来・専門外来予定表

令和7年1月1日現在

診療時間

午前 8:30～11:30

午後 13:30～16:30



※ 詳細は、各科外来窓口にお問い合わせください。(診療時間内をお願いします。)

診療科名	外来名等	担当医師名	診療時間・曜日	特徴など
内 科	呼 吸 器	日本呼吸器学会指導医 中村 洋之	午前：月～木曜日 午後：水曜日	・気管支喘息、肺炎、結核症および非結核性抗酸菌症、慢性閉塞性肺疾患、呼吸不全、びまん性肺疾患、肺癌、緩和医療など幅広く呼吸器疾患全般へ対応。 ・急性呼吸不全に対しては、非侵襲的および侵襲的人工呼吸療法を中心とした全身管理。慢性期には包括的呼吸リハビリテーションを施行。 ・睡眠時無呼吸症候群の診療も扱います。
		日本内科学会認定内科医 喜多 信之	午前：金曜日 午後：月・水曜日	
	循 環 器	日本循環器学会認定循環器専門医 吉川 圭	午前：水・金曜日 午後：月曜日	・虚血性心疾患、心不全、不整脈など循環器救急への24時間対応を含め、広く循環器一般を扱います。
		日本循環器学会認定循環器専門医 藤田 憲弘	午前：火曜日 午後：水・木曜日	
		日本循環器学会認定循環器専門医 吉原 夕美子	午前：火曜日	
		川口 圭吾	午前：木曜日	
	消 化 器	日本消化器内視鏡学会専門医 室田 将之	午前：火曜日 午後：木曜日	・胃腸、肝胆膵領域を中心に消化器疾患全般を扱います。特に腹部超音波、内視鏡検査により的確に診断し、消化器癌の早期発見・治療に努めています。
		赤井 開	午前：水・金曜日	
		松本 莉香	午前：木曜日	
		西田 衣里	午前：月曜日	
	糖 尿 病	日本糖尿病学会研修指導医 大工原 裕之	午前：月～金曜日 午前：第2土曜日	・経口薬でコントロール不良となっている糖尿病のコントロールを改善します。 ・糖尿病療養指導士の資格を持ったスタッフと共に、患者さんの生活習慣改善に努めます。
		日本糖尿病学会研修指導医 大島 都美江	午前：火曜日	
	血 液	日本血液学会指導医 田岡 輝久	午前：月・水曜日 午後：金曜日	・貧血から白血病、悪性リンパ腫まで幅広く血液疾患を診察します。
		日本血液学会専門医 松岡 亮仁	午後：火・金曜日	
		坂本 裕樹	午後：火曜日	
		牧平 悠也	午後：木曜日	
		山本 光貴	午後：水曜日	
	腎 臓	日本腎臓学会専門医 尾崎 太郎	午前：月曜日 午後：金曜日	・腎疾患の専門的治療を行います。
		山本 珠愛	午前：木曜日	
	膠原病・リウマチ	日本リウマチ学会専門医 中島 崇作	午後：金曜日	・膠原病・リウマチの専門的治療を行います。
小 児 科	ア レ ル ギ ー	日本小児科学会専門医 谷本 清隆	谷本清隆医師診療時	・アレルギーの患者を対象とした専門外来。
	小児科神経外来	日本小児科学会専門医 小西 行彦	午後：第3火曜日	・小児けいれん症の患者を対象とした専門外来。
外 科	ス ト ー マ ケ ア	日本外科学会専門医 坂本 あすな	午前：水曜日	・ストーマ(人工肛門)の経過観察、ストーマ処置の指導や治療・相談などを行っています。
	ヘルニア(脱腸)	日本外科学会指導医 佐野 貴範	午前：木曜日	・腹部のヘルニア(脱腸)の相談にのります。
呼吸器外科	気 胸	日本呼吸器外科学会専門医 中島 成泰	午後：木曜日	・気胸や巨大肺嚢胞の専門的治療を行います。
	手 掌 多 汗 症	日本呼吸器外科学会専門医 徳永 義昌	午後：木曜日	・手掌多汗症の外科的治療を対象とした専門外来。
形 成 外 科	形 成 外 科	日本形成外科学会専門医 三柳 友樹	午後：金曜日	・怪我、キズ痕、見た目の問題など幅広く診療を行います。
		細川 敦司		
整 形 外 科	リ ウ マ チ	日本リウマチ学会専門医 田村 知雄	午後：第1金曜日	・初診時は、一般外来の受診が必要です。
	股 関 節	日本整形外科学会専門医 千田 鉄平	午後：第1・第3・第5月曜日	
	膝	日本整形外科学会専門医 伊達 直人	午後：第2・第4月曜日	
	脊 椎	日本脊椎椎間病学会認定脊椎椎間科指導医 小松原 悟史	午前：土曜日(月2回)	
産 婦 人 科	母 乳 外 来	IBCLC(ラクターション・コンサルタント) 日本産科婦人科学会専門医 戸田 千	要予約(ご相談)	・赤ちゃんとの生活でお悩みの方(乳腺炎・ミルクの量など)、ご利用ください。自費料金 初回 3,300円 2回目以降 1,100円

外来診療予定表

令和7年1月1日現在

受付時間	初めの方		再来の方	
	午前	8:30～11:30	午後	13:00～16:30 (泌尿器科のみ15:30)
診療時間	午前	8:30～11:30	午後	13:30～16:30

診療科		月		火		水		木		金		土	
内 科	午前	初診・総合	吉原 夕美子	牧平 悠也(奇数週) 山本 珠愛(偶数週)		谷本 千佳子		西田 衣里		藤田 憲弘(奇数週) 坂本 裕樹(偶数週)		交代診療 下記の専門外来 も行います。 大工原 裕之 糖尿病(第2週)	
		呼 吸 器	中村 洋之	中村 洋之		中村 洋之		中村 洋之		喜多 信之			
		循 環 器	紹介患者	藤田 憲弘 吉原 夕美子		吉川 圭		川口 圭吾		吉川 圭			
		消 化 器	西田 衣里	室田 將之		赤井 開		松本 莉香		赤井 開			
		糖 尿 病	大工原 裕之	大工原 裕之 大島 都美江		大工原 裕之		大工原 裕之		大工原 裕之			
		血 液	田岡 輝久 松岡 亮仁	松岡 亮仁		田岡 輝久 松岡 亮仁		松岡 亮仁		松岡 亮仁			
		腎 臓	尾崎 太郎					山本 珠愛					
	禁 煙	「禁煙外来」は、薬剤供給の停止により休診しております。											は 休診です
	午 後	川口 圭吾 (総合内科)	坂本 裕樹 (総合内科)		山本 光貴 (総合内科)		松本 莉香(1,2,3週) 赤井 開(4,5週) (総合内科)		牧平 悠也 (総合内科)				
		吉川 圭 (循環器)	松岡 亮仁 (血液)		藤田 憲弘 (循環器)		室田 將之 (消化器)		田岡 輝久 (血 液)				
喜多 信之 (呼吸器)				吉川 圭 (ペースメーカー)		藤田 憲弘 (循環器)		松岡 亮仁 (血 液)					
				喜多 信之 (呼吸器)		牧平 悠也 (血 液)		尾崎 太郎 (腎 臓)					
			谷本 千佳子				中島 崇作 (膠原病)						
小 児 科	午 前	谷本 清隆 高橋 昌志 新居 広一郎	砂川 正彦 川崎 綾子 新居 広一郎		高橋 昌志 谷本 清隆 新居 広一郎		新居 広一郎 谷本 清隆 川崎 綾子		高橋 昌志 和唐 彰子 川崎 綾子 岡山大医師		交代診療		
	午 後	高橋 昌志 砂川 正彦 新居 広一郎	予防接種・ 乳幼児健診 小児神経外来 (第3週)		新居 広一郎 高橋 昌志 香川大医師		高橋 昌志 砂川 正彦 川崎 綾子		予防接種・ 乳幼児健診 岡山大医師				
耳鼻咽喉科	午 前	武田 純治 樋口 雅大	武田 純治 樋口 雅大		武田 純治 香川大医師				武田 純治 樋口 雅大				
	午 後	武田 純治 樋口 雅大			樋口 雅大 香川大医師				武田 純治 樋口 雅大				
外 科	午 前	佐野 貴範	岡田 節雄		森 誠治		岡田 節雄		森 誠治		交代診療		
		坂本 あすな	四元 拓宏		佐野 貴範		坂本 あすな		四元 拓宏				
	午前専門外来			⑦坂本 あすな ストーマケア		⑦佐野 貴範 ヘルニア(脱腸)							
	午 後	乳がん検診(完全予約制) 池内 真由美				橋本 希 (第1・3・5週)							
可能な限り紹介患者様を受け付けますが午後は手術・検査等がありますので、必ず事前に電話等でのご確認をお願いします。													
呼吸器外科	午後のみ	中島 成泰 徳永 義昌			中島 成泰 徳永 義昌		中島 (気胸) 徳永 (手掌多汗症)						
脳 外 科	午後のみ					川西 正彦							
形成外科	午後のみ									細川 敦司 三柳 友樹			
整形外科	午前	一 診	松下 誠司	松下 誠司				松下 誠司		松下 誠司		交代診療	
		二 診	森重 浩光	慈氏 裕晃		森重 浩光		田中 秀典		森重 浩光		小松原 悟史 脊椎外来(月2回)	
		初 診	慈氏 裕晃	田中 秀典		慈氏 (1・3・5週) 田中 (2・4週)		慈氏 裕晃		田中 秀典			
	午後	一 診							森重 浩光				
		初 診							田中 (1・3・5週) 慈氏 (2・4週)				
	専門外来 (予約)	伊達 直人 膝(第2・4週) 千田 鉄平 股関節(第1・3・5週)								田村 知雄 リウマチ(第1週)			
産婦人科	午 前	花岡 有為子 (受付～11時)		戸田 千		戸田 千		(予約のみ)		戸田 千			
	午 後	戸田 千		戸田 千				戸田 千					
泌尿器科	午 前	林田 有史	林田 有史		林田 有史 (第1・2・4・5週)		紹介・新患		林田 有史				
		山崎 真理	山崎 真理		阿部 陽平 (受付9時～)		山崎 真理		山崎 真理				
	午後 (15:30初診受付終了)					林田 有史		(予約のみ)		原田 怜 (受付14時～)			
眼 科	午 前	大垣 修一		大垣 修一		大垣 修一		大垣 修一		大垣 修一			

